

どんげらね

ときわ会三条支部

組 織 委 員 会

令和5年11月発行



一度途絶えた会津と越後の道が再び結ばれる「国道289号八十里越」のあふれる自然
(R5.10.29 秘境八十里越体感バスツアーにおいて撮影)

いかがお過ごしでしょうか。昨年度に引き続き、三条市にご自宅があり他市町村に勤務されている皆様に、ときわ会三条支部広報紙「どんげらね」をお届けします。

今回は、令和5年度に三条市で行われているさまざまな教育活動を紹介いたします。新型コロナウイルス感染症の位置付けの変更にともない、数年ぶりに実施する行事もあります。「ふるさと三条」の教育に思いを巡らす機会となれば幸いです。

三条市民憲章

平成17年10月4日制定

雄大な山々 悠久の流れ 実りの大地 創造の槌音
先人たちが築いた伝統文化 一人ひとりが輝くやさしいまち
私たちはこのまちの市民であることに誇りを持ち みんなで次のことに努めます
自然を愛し川をきれいにし緑を育みます
教育と文化を高め豊かな人間性を培います
スポーツに親しみ心と体を鍛えます
常に新しいことに挑戦し未来を拓きます
助けあいの心を持ち進んで地域の活動に参加します

刃物・ものづくり教育



<小刀学習>

小学校・前期課程（以下小学校）では、3・4年生を中心に小刀を使用して竹箸を作りました。講師の先生方が補助に入ってくさったおかげで、子どもたちでも安全に小刀を使用することができました。三条市の伝統的な文化に触れる学習でした。

<木工用工具学習>

中学校・後期課程（以下中学校）では、木工用工具学習や包丁研ぎ体験をとおして刃物やものづくりに触れ、三条市の伝統産業について学んでいます。三条市建築組合や地域の方々から講師としてお越しいただき、貴重な体験をすることができています。



まちやま理科学習

令和4年7月24日、三条市のまちなか（旧三条小学校跡地）に、図書館、鍛冶ミュージアム、科学教育センター、カフェ&レストラン等の複合施設「まちやま」がオープンしました。

科学教育センターでは、「児童生徒の科学的思考力・創造力と探究力の育成」を基本理念として、これまでの「理科教育センター事業」と「科学教育推進事業」に加え、「まちやま理科学習事業」が新たに導入されました。これにより、三条市の小・中・義務教育学校において、特色ある理科授業のカリキュラムづくりができるようになっていきます。「まちやま理科学習」では、理科授業の進度に合わせ、校内ではなかなかできない大型実験機材を用いた授業を行っています。子どもたちはスクールバス等を利用して「まちやま」に集まり、サイエンスショーや科学工作・実験を体験します。



オープン1年目には、小学校6年生を対象にした「てこのしくみとはたらき」、中学校2年生「電流とそのはたらき」、中学校3年生「地球と宇宙」、中学校1年生「光と音」の授業を行いました。令和5年度は、小学校3年生以上の全ての学年で「まちやま理科学習」が行われています。

小学校音楽祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛を続けていた対面開催を4年ぶりに実施しました。会場は三条市体育文化会館となり、中央公民館で実施していた頃の駐車場不足も大きく改善されました。

子どもたちは、伸び伸びと日頃の音楽学習の成果を発表し、音楽表現する楽しさを味わうことができました。また、他校の発表を鑑賞することをおして、美しい音楽表現に触れたり、互いの頑張りを認め合ったりすることができました。

本年度は、親善陸上大会が猛暑による中止となったため、三条市内の小学校が学園を越えて交流する貴重なイベントとなりました。多くの学校は5年生を中心とする発表でしたが、児童数減少の影響から複数学年での発表の学校が以前より多くなりました。



中学校地域部活動

中学校では、部活動の段階的な地域移行が始まりました。令和5年度は柔道、陸上、軟式野球、吹奏楽がスタートしています。今回は、軟式野球について紹介します。

軟式野球では、まずは「みんなで集まって練習や試合に取り組んでいく」ことで7月（1・2年生の新チーム）からスタートしました。三条市の野球人口は減少傾向にあり、

中学校9校中6校の新チームが合同チームです。地域クラブ活動では、60人を超える中学生が活動を希望し、競技力向上を目指して活気のある実践的練習を積んでいます。また、現在は兼職兼業手続きをした複数の教員（中学校の部活動顧問）と地域の方あわせて7人で指導しています。指導者が多数いることで選手の動きを複数の目で見ることができ、丁寧な指導につながっています。部活動であれば、毎週のように顧問が参加しなければなりません。指導者が交替で参加することができることで指導に携わる教員の負担感も和らぎました。

スタートしたものの前例のない活動であり、まだまだ手探り状態です。関係各所との連絡・調整など、今までの部活動のように自由度高く活動することは難しいのが現状です。時代の変化に合わせ、生徒の成長に寄与できる地域部活動の一つの在り方を三条市から発信できるよう、歩みを進めていきたいと思っております。



特別支援教育

特別支援学級に在籍する児童生徒の豊かな人間関係育成を目指し、三条市では、学園や学校ごとに様々な行事・交流会を開催しています。開催に当たっては、市教委、市特協、ライオンズクラブ、ロータリークラブをはじめとする多くの団体から支援をいただいています。

ただの郷学園では、7月6日（木）に森町小学校で小中交流会を行い、「傘袋ロケット作り」に取り組みました。「あの子の作り方を真似してみよう」「袋の口はこうやって縛るんだよ」「この羽根いいねえ」などと、互いに見せ合ったり、真似したりしながら価値ある時間を過ごすことができました。

他にも、地区（三条・下田）ごとのライオンズチャレンジ教室や各学園でのウィンターフェスティバルなどを開催し、特別支援教育の充実を図っています。



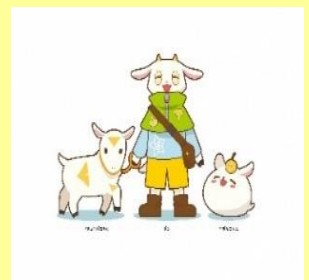
学校ルポ ～創立 150 周年 笹岡小学校～

本年度は、一ノ木戸小学校、保内小学校、森町小学校、笹岡小学校、須頃小学校の5校で創立150周年記念式典が挙行され、各校で工夫を凝らした記念事業が行われました。

ここでは、笹岡小学校の記念事業について紹介します。

【記念キャラクター制作】

昨年度、全校から募集した3つのキャラクターデザインを合わせた一つのイメージを子どもたちが完成させました。記念Tシャツのバックプリントにも採用し、Tシャツは小学校音楽祭や記念式典において全校児童が着用しました。



【ヤギも一緒に記念撮影】

運動会では、「150」にちなんだ記念種目やパフォーマンスを行いました。開会式前には、飼育しているヤギも一緒に、保護者・地域の皆さんとともに写真撮影を行いました。クリアファイルに加工し、地域全戸に記念品として配布しました。



【記念祝菓「ただの宝ロール」】

学校田の米、野菜畑のサツマイモを材料にしてロールケーキを考案しました。市内洋菓子店のパティシエの方に協力いただき、記念式典の祝菓としました。



【編集後記】

ときわ会三条支部は、三条市在住の皆様とのお縁を大切に、皆様の益々のご活躍を心からお祈りしております。あわせて、皆様が、今後ふるさと三条市でお力を発揮していただけることを切に願っています。

（編集担当・笹岡小・相田 覚）